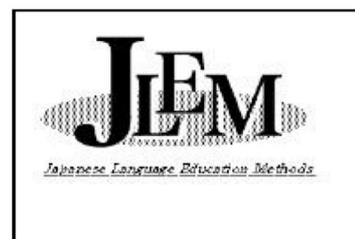


JLEM News Letter Vol.58



第64回日本語教育方法研究会開催

発表 72 件 参加者 198 名

第65回はオンライン開催にて

2025年3月15日(土)、第64回日本語教育方法研究会が桜美林大学で開催されました。参加者は198名(会員170名、非会員28名)で、活発な意見交換が行われました。

また、それに先立ち、3月13日(木)には、運営委員会が開かれました。議事については、このニュースレターの記事をご覧ください。

今回の第65回研究会は2025年9月20日(土)にオンラインで開催いたします。皆様、奮ってご参加ください。

た、アルバイトとして参加した学部生たちも、同年代の学生による発表や多様な日本語教育の側面に触れ、次は自らが発表の場に立つことを目標に、日々学びに励んでおります。

このような貴重な機会をご提供いただきましたこと、そして発表者の皆さまをはじめ、準備・運営にご尽力くださったすべての方々に、改めて心より御礼申し上げます。

今後もJLEMにおいて、皆さまと活発な議論や交流ができますことを楽しみにしております。

・発表内容が会の趣旨に合わないものや内容が不十分なものが散見されます。詳細は繰り返しません。Vol.56の記事の再読をお願いします。

(2)会の趣旨に合わないもの、内容および形式に不備があり基本要件を満たさないものに関しては、より厳しく対応する方針とします。特に「内容の不備」に関しては、今回、著作権侵害の恐れがある原稿が複数ありました。教育現場での著作権に関することは皆さまご存じかと思いますが、研究発表においては、それ以外にも留意すべき点が多々あります。今後は著作権についてもよく調べて、不備のない発表原稿をご準備いただきたく思います。

開催を終えて

内山 喜代成
(桜美林大学)

第64回研究会は、2025年3月15日(土)に桜美林大学町田キャンパスにて開催されました。

当日は72件の発表が行われ、国内外から198名の参加者をお迎えすることができ、誠に嬉しく存じます。

会場校としての運営に関しましては、桜も満開とはいかず、至らぬ点もあったかと存じますが、皆さまのおかげをもちまして、議論には大きな花を咲かせることができ、非常に充実した研究会となったと感じております。ま

講評

松崎 寛
(会長)

以下、第64回研究会の「講評」で述べたことですが、記録の意味で掲載します。これは会長の講評というより、研究発表に関する運営委員会からのお願いです。次回以後、ご留意願います。

(1)第62回研究会の「講評」時に皆様にお伝えし、ニュースレターVol.56にもその内容を掲載しましたが、その後

・フォーマットに従わない書式や不適切な引用がある原稿

次回開催にあたって

内藤 真理子
(事務局)

第65回研究会は、2025年9月20日(土)にZoomの会議システムを利用して遠隔で開催します。第65回研究会では、運営上の都合により発表件数の上限を80件とします。発表申込件数がそれを上回った場合には、発表申し込みをされた方を対象に抽選を行い、発表をしていただく方を決める予定です。抽選から漏れた方は、会誌原稿掲載をもって発表成立とします。詳細については、「発表申込のご案内」をご覧ください。また、

事前の動作確認の御依頼には対応いたしかねますので、各自で行ってください。

第19回 JLEM 奨励賞

JLEMの「優秀賞」は、①課題の設定やその検証の視点の独自性、②教育実践・研究成果の発展性、③ポスターの見やすさという3点を基準に審査され、優れた内容の発表を行った会員に授与されるものです。ただし、顕彰に値する発表があったと判断された際には、「奨励賞」「ポスター賞」を設け、授与する場合があります。第64回研究会の発表について、会長、及び3名の運営委員で構成されるJLEM賞選考委員会で審査を行ったところ、以下のようになりました。

奨励賞: シャルマ彩(東京大学)「学習者による日本語使用のレポートを取り入れたコミュニケーションの授業—学習者の気づきから得られた授業改善のヒント—」

優秀賞・ポスター賞: 該当者なし

奨励賞のシャルマ氏の発表は、会話において、前置きとして使用される「んですけど」を含む依頼のやりとりについての段階的な指導に関するものでした。授業内での観察・練習、アクションレポート(教室外での使用を記録するレポート)、事後のフィードバックという段階を踏むことで、表現選択の要点が把握され、学習者の聞き手への配慮の意識が深まったことが報告されましたが、その問題設定とアプローチの観点の斬新さは注目に値

すると評価されました。

一方で、選考委員会の席上では、3つの段階の時間的な間隔や、他の表現や言語行動との関連性など、実践の全体像が見えにくい点も指摘されました。しかし、それらを含め、今後の研究の発展性が高いと判断され、本発表には「奨励賞」を授与することとなりました。受賞のポスターはJLEMのウェブサイトに掲載されますので、ぜひご覧ください。

(俵山雄司)

運営委員会報告

運営委員会は、3月13日(木)にZoomを用いて開かれました。34名の運営委員のうち24名が参加し、10名から委任状が提出されました。今回の運営委員会で報告・審議されたことのうち、会員に関係が深いものを以下にご報告いたします。

- ①会員数: 2025年3月8日現在、781名(国内759名、海外22名)。
- ②運営委員の異動・就任・退任:
平山允子さん異動: 企画・広報→編集(会誌担当)
金蘭美さん(横浜国立大学)就任: 情報管理
荻原まきさん(桜美林大学)就任: 編集(会誌担当)
高村めぐみさん退任
長谷川守寿さん退任
- ③会誌送付方法: 第四種郵便利用は「学術刊行物に関する要件」に指定されず不許可となった。「飛脚ゆうメール便」を継続利用する。
- ④問題のある原稿と今後の対応:
・内容・形式とも大幅な逸脱があった原稿を却下した。

・著作権侵害の恐れがある原稿があり、引用元からの許諾の明記を依頼した。

今後はそのような問題が大きい原稿は受け付けない旨「発表申込案内」に明記し、文化庁著作権課(2024)『学校における教育活動と著作権』を参照するよう指示する。
⑤JLEM賞: 以前は「優秀賞」受賞者があるときに限り「奨励賞」「ポスター賞」を選考していたが、今後は切り離して考え、「奨励賞」「ポスター賞」に値する発表があれば個別に顕彰する。

⑥今後の開催予定: 第65回研究会(2025年9月20日)はオンライン開催(Zoom)を予定。第66回研究会(2026年3月)は、静岡大学静岡キャンパスで対面開催を予定。

(松崎寛)

事務局よりご連絡

●発表者の会費支払期限
第65回研究会で発表するためには、発表者(複数の場合は全員)は応募時点で2025年度の会費(2025年4月からの新年度分)を支払っていただければなりません。期限は2025年7月9日(水)です。その時点で入金を確認できない方については、発表申し込みを受け付けることはできませんので、早めに入金を済ませてください。昨年度の会費が未納の場合、今年度に会費を支払っても、昨年度分に充てられるため、今年度分は未納のままとなります。発表申し込みを行う前に、必ず発表者全員が各自の会員ページで今年度の会費支払いが済んでいることをご確認ください。

●発表をお断りする場合

本研究会では、以下の場合発表をお断りする場合がありますので、ご承知おきください。

- ①本研究会、または他の学会・研究会で既に発表された内容のもの
- ②研究倫理上問題があると考えられるもの
- ③特定の個人や集団を攻撃する内容のもの
- ④特定の教材、商品、サービス等を宣伝するもの
- ⑤日本語教育との関連が見出せないもの
- ⑥捏造、改ざん、盗用、著作権侵害の恐れがあるもの

●住所変更等

JLEMでは、会員管理システムに登録された会員住所に会誌を送付していますが、返送されてくるケースがあります。住所変更等があった場合は、速やかに会員専用サイトにてご自身で会員情報の変更をお願いします。なお、転送サービスには対応していません。また、登録の際には、以下の点にご注意ください。

・集合住宅にお住まいの場合は建物名まで入力してください。

・郵便受けの表札名とご登録の苗字が異なる場合は、住所末尾に「〇〇方」と追記してください。

(内藤真理子)

会費納入について

会計年度は、4月から3月です。研究会のスムーズな運営のためにも、6月30日までにお支払いいただきますようお願いいたします。

また、各研究会の際に会費納入が終了していない場合は、研究会まで

に会誌が送付されず、後日送付されることとなります。また、それにより、運営委員の手間が増えることとなります。それはともかく、研究会の際、会誌が手元にないと不便だと思いますので、余裕をもってお支払いをお願いいたします。発表申込の締切日を目安とお考えください。

退会される場合は、3月末までに退会処理をお願いいたします。4月になりますと、新年度の会費納入義務が生じますので、お気を付けください。

●振込先

①郵便局の電信払込の場合

記号:10140

番号:69076511

加入者名:日本語教育方法研究会
振込者名:(氏名だけでかまいません)

②銀行からの振込の場合

銀行名:ゆうちょ銀行

金融機関コード:9900

店番:018

預金種目:普通

店名:〇一八店(ゼロイチハチ店)

口座番号:6907651

加入者名:ニホンゴキョウイクホウホウケンキユウカイ

振込者名:(氏名だけでかまいません)

●所属先名で振り込む場合

所属先の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。所属先が前だと会員名がカットされることがあります。

●会員番号で振り込む場合

会員番号の前に必ずご登録の会員名をご記入ください。会員番号が前だと会員名がカットされることがあります。

●ご登録の会員名と異なる名義で振

り込む場合

必ず振り込みの度に、ホームページの「お問い合わせ」より、その旨ご連絡ください。

●振り込む方の名義が外国語で表記される場合

ご登録の会員名が確認できないことがよくあります。特に、中国の方はピンインで表記されることが多いため、ご登録の会員名(JLEMのシステムでは漢字とカタカナのみ)を検索して確認するのに時間がかかっています。お手数ですが、振り込んだというご連絡をいただくと助かります。

(内藤真理子・高橋亜紀子)

運営委員会メンバー

会長:松崎寛(日本大学)

事務局:内藤真理子(電気通信大学), 畠山理恵(文化学園大学)

会計:伊藤夏実(東京農工大学), 島崎薫(東北大学), 高橋亜紀子(宮城教育大学), 平田秀(武蔵野大学)

編集(ニュースレター担当):世良時子(上智大学)

編集(会誌担当):内山喜代成(桜美林大学), 榎原実香(東京科学大学), 大津友美(東京外国語大学), 荻原まき(桜美林大学), 尾沼玄也(拓殖大学), 香月裕介(神戸学院大学), 鴈野恵(筑紫女学園大学), 工藤嘉名子(東京外国語大学), 栗原通世(国士舘大学), 小森万里(大阪大学), 佐々木良造(静岡大学), 佐藤淳子(北海道大学), 鈴木綾乃(横浜市立大学), 生天目知美(東京海洋大学), 平山允子(日本学生支援機構), 村上智子(京都精華大学)

編集(J-STAGE 担当):寺嶋弘道(立命館アジア太平洋大学)

情報管理:金蘭美(横浜国立大学), 佐藤礼子(東京科学大学), 篠崎大司(別府大学/株式会社篠研), 橋本直幸(福岡女子大学)

企画・広報:河野俊之(横浜国立大学), 俵山雄司(名古屋大学), 中川健司(横浜国立大学), 根津誠(国際交流基金)

日本語教育方法研究会

問い合わせ先:jlem-ml@jlem-sg.org

(レター編集:世良時子)